

訪問看護ステーションきさらぎ 美魔女通信

2024年7月発行

第2号

編集・花本

今年も暑い夏が始まりました。“例年にない猛暑”が毎年となり、今年はどうやって夏を乗り切ろうかと悩む毎日です。最新のハンディファン（扇風機）を買ってみたり、売り切れる前にネッククーラーを大量買いしてみたり…でも一番は仕事終わりのビールですね！皆さんも良い夏の乗り切り方がありましたら是非教えてください！



ここ数年、在宅看取りが増えています。末期がん、老衰、肺炎、心不全、腎不全など疾患は様々です。在宅看取りで私たちが気を付けていることは、

“本人がしんどくないように。家族が寂しくても悲しくないように”です。本人や家族の思いも変化して当たり前なので、状態を見落とさないように複数のアンテナを張るよう心掛けています。

訪問看護での看取りは、美味しいおにぎりを作ることに少し似ていると思います。握り方が柔らかすぎると崩れてしまうし、固すぎると米粒もつぶれてしまう。握り方の塩梅が一番難しい。言いすぎると関係性が悪くなるし、言わないと良くならない。ふんわりまとまるように、美味しくなるように心を込めて……。

同じケースは一つとして無いので、訪問看護開始時から何が出来るかを考えていきます。焼き海苔にしようか、味付け海苔にしようか、具材は何にしようか、小さいおにぎりにしようか、山賊おにぎりがいいか、俵型にしようか、海苔の巻き方、混ぜご飯がいいかな、炊き込みご飯のおにぎりもアリかな……。

本人はどうしたいか、家族はどう思っているのか、食事はどうするか、車椅子移動はどうすれば安全か、排泄方法は家族の負担軽減をとるか、家族の夜間不眠はどうするか等々。主治医に報告することか、ケアマネージャーに相談したら解決するか、ヘルパーさんの力も貸してもらった方がよいのか、などを考えながら動いて、多職種連携によって“良い塩梅”になるのだと思います。

また「いい看取りをしてくれるよね。」と言っていただけで、ようにスタッフ全員で関わっていきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



管理者・田渕 忍



空き状況	看護	曜日、時間をご相談ください
	リハビリ	ご希望の時間にお応えします

ご連絡先 訪問看護ステーションきさらぎ (0829) 20-5361